

北は小坂町、南は湯沢市まで秋田県の元気な集落の情報満載!!

元気ムラ通信 4号

元気ムラ通信は秋田県活力ある集落づくり支援室が運営する「秋田県のがんばる農山漁村集落応援サイト(通称:元気ムラ応援サイト)」で紹介している地域活動を、より多くの皆様に参考にしていただくために発行しております。●発行日:平成26年8月1日

あきた元気ムラ
応援サイトは

元気ムラ で検索

- Twitterアカウント→@akitagenkimura
- facebook→「あきた元気ムラ」



元気ムラサイトを
携帯電話・スマート
フォンで見たい方は
←こちらから!

地域で運営している「余目そば処」は
飲食可能な施設。山形県白鷹町の皆さんは
余目の加藤さんの話に熱心に耳を
傾けていました。

東北3県の地域が大仙市の元気ムラ余目を訪問しました。

7月の
1枚

集落間交流

5集落で構成される大仙市・余目地域は、「余目地域活性化対策いきいき会議協議会」が中心となり、「直売所」と「そば処」の運営や、毎年4月下旬の「さくら花火観賞会」を開催しています。平成25年にはピザ作り体験ができる石窯を設置するなど、活発な地域づくりの取組に県内外から視察に訪れる地域が増えています。今年に入ってから、秋田県大館市・山館地域、宮城県登米市・東和町「ろくし会」、岩手県西和賀町「大野集落営農組合」、山形県白鷹町「十王地区公民館」の皆さんが余目を訪問し、交流が行われました。

6～7月の元気ムラ。こんなことありました♪

千葉県柏市の 京北スーパーで料理教室

6月13日、千葉県柏市の「京北スーパー」アプリス店で山菜料理教室を開催。仙北市・田沢地域のお母さんたちが講師となり、「ネマガリダケ」や「ミズ」の調理方法を教えながら首都圏の皆さんと交流しました。

秋田がんばろう市の開催

7月12日(土)・13日(日)、秋田駅西口の「ぼぼろーど」で開催。県内9地域の皆さんが、自慢の漬物やお菓子を販売しました。

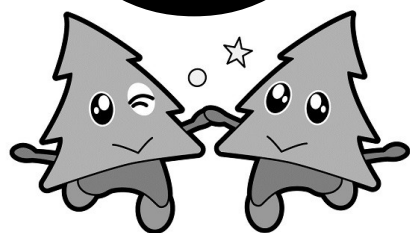




今年は
北秋田市で
開催!

あきた元気ムラ

大交流会に参加し



自治会・町内会などの地域活動に興味のある皆さんに参加いただき開催して今年(2014年)は9月6日(土)、北秋田市を会場に開催します。第1部は地域に「伝統芸能」「伝統行事」についての取組発表。第2部は自慢のお料理などを持参し2部構成で開催します。年に1度の地域と地域の「出会い」の場に参加してみま

あきた元気ムラ大交流会とは



※写真は昨年の大交流会の様子です。

あきた元気ムラ大交流会には、県内外の様々な場所で地域活動を行っている皆さんが集まります。地域に元気を生み出そうと取り組む人々の事例発表や、自慢の逸品を持ち寄っての交流会を通じ、元気づくりの原動力となるようなイベントを目指しています。今年のテーマは「伝統芸能」と「伝統行事」。地域に受け継がれてきた「宝」について、皆さんと一緒に考えたいと思います。

第1部
11:00～
12:40

取組発表・演目披露



伝統芸能の継承、保存に取り組む2団体の取組発表と演目披露、そして地域の伝統行事を受け継ぐ1団体の取組発表を行います。



伝統芸能の
実演も
あります!

※伝統芸能の写真はイメージです。実際の取組発表や実演と異なる場合があります。

参 加 さ れ た 方 々 の 声

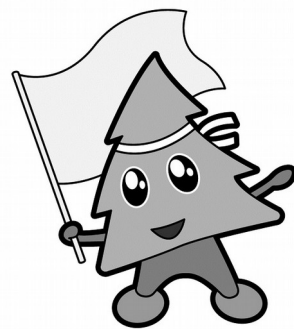
元気な団体が
多く圧倒された！

他の地域の
活動がとても
参考になった！

地域で頑張っている
人が多いことに
ビックリしました。

参加してみて
自分たちでも出せる
食材やお宝があると
感じました。

参加する前は気後れ
していたけど、実際に
参加したら、自分たちでも
何かやれと思った！



【昨年の元気ムラ大交流会】
横手市の秋田ふるさと村ドーム劇場で開
催。県内から154集落(229人)、青森県・
岩手県から11地域(81人)が参加。さらに
一般参加者や元気ムラ応援団企業も含め
ると、計430人が集まりました。

てみませんか？

ている「あきた元気ムラ大交流会」。
に受け継がれてきた
持ち寄って賑やかに話す交流会と、
ませんか？



持ち寄った
地域のお菓子



第2部
13:00～
15:00

♪ 交流タイム ♪



地域を応援する
企業・団体の
活動紹介もあります



大交流会をきっかけに
集落同士の交流を
始めた地域もあります



皆 様 の ご 参 加
お 待 ち し て お り ま す

あきた元気ムラ大交流会2014

日時

9月6日(土)

11:00～15:00 (予定)

場所

【第1部】北秋田市文化会館
(ファルコン)

【第2部】北秋田市交流センター

〒018-3311 秋田県北秋田市材木町2-3
※北秋田市交流センターはファルコン隣です。

入場無料

お問い合わせは

秋田県活力ある集りづくり支援室(元気ムラ支援
室・電話018-860-1215) か、最寄りの市町村まで

声

元気なムラ人の
“想い”を発信！

元気ムラからのメッセージ

大館市田代地域・山田部落会 浅利重博さん

(後列・右から3人目)

山田部落会の皆さんと一緒に



山田部落会が平成6年から地縁団体として地域の財産を管理する中、財産である山林の有効活用として取り組んでいるのが「舞茸」栽培です。666人の住民の内、約70人が参加し、舞茸栽培に取り組んでから5年になりました。

冬の余剰労力を活用し、部落所有の山林から樫の木を伐採し、搬出、玉切、煮沸、植菌、熟成、保管と一冬の間に300人以上の人員と手間をかけて舞茸の原木の「ほだ木」を作ります。7月にほだ木を山林に埋め戻し、9月末に舞茸を収穫できます。2kg近くの大物も夢ではありません。その風味は自然の味に近く、新米きりたんぼ鍋の具材の主役になります。山田には5年間で2万本近くのほだ木が埋め込まれており、秋になると舞茸出芽～収穫の話題でもちきりになります。

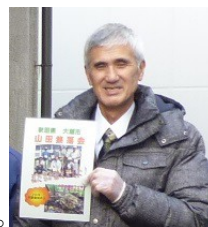
東京・銀座のビルで始めたプランターでの舞茸栽培は平成25年10月に見事に発芽し現地の皆さん

山田部落会の舞茸栽培

にも大変喜ばれました。首都圏マンションのベランダで舞茸栽培ができるようになれば販路が広がると期待しています。

山田の舞茸イベントは7月の舞茸オーナー募集・原木ほだ木の販売、9月の収穫した舞茸販売、10月には新聞広告等で宣伝する山田“菜”発見市(山田部落会主催のトラック市)があります。中でも山田“菜”発見市には多くのお客さんが野菜と共に舞茸原木を目当てに来場します。乾燥舞茸、水煮パック舞茸、真空パック舞茸と加工品舞茸も出来上がり、ますます活用範囲が拡大しました。

私が部落会役員になってから5年の間、地域づくりを進めてきました。山田の人口も720人から666人と減少していますが、これからも役員一丸となり地域のコミュニティづくりを進めていきたいと思っています。



写真提供
ありがとうございました

県内58地域の元気ムラを紹介している「元気ムラ応援サイト」では、地域の皆様から提供していただいた写真や文章を紹介しています。↓次にご紹介したのは4～7月にかけて地域の皆様が撮影して提供していただいた写真です。今後も地域の皆様からの「旬」の写真をお待ちしております！



さくら花火観賞会
余目(大仙市)
三浦正彦さん



白岩の山菜まつり
白岩(仙北市)千葉さん



天神グラウンドの桜
松館(鹿角市)松田守宏さん



五里合地区祭典駅伝
鮎川(男鹿市)成田義則さん



宮城県東和町との交流
余目(大仙市)加藤加一さん



6月の水路掃除！
木下(横手市)菊地幸男さん



第44回横岡大運動会
横岡(にかほ市)斎藤安昭さん

編集後記

大仙市・小神成(こがなり)出身の「鈴木空如(くうによ)」は、世界文化遺産・法隆寺の法隆寺金堂壁画を模写したことで知られる画家で、元気ムラサイトでも記事を紹介している小神成地域の偉人です。5月にNHKの全国放送で取り上げられた後、テレビ効果により元気ムラサイトの鈴木空如の記事を閲覧する方が増加しました。5月の元気ムラサイトのアクセス数は過去最高記録を更新！取材班は1回のテレビ放映のパワーに驚きつつも、現代人の心に響く地域の偉人の生き方に感銘をうけたのであります。

元気ムラ支援室は「住民主体」の地域づくり活動を支援しています。

- 地域づくり活動事例の出前講座 ●G・B(じっちゃん・ばっちゃん)ビジネスの支援
- 集落間交流のコーディネート など。お気軽にご相談ください。

こんな活動を
しています♪

お問い合わせ

●発行／秋田県 活力ある集落づくり支援室（元気ムラ支援室）

●住所／〒010-8570 秋田県秋田市山王4丁目1-1

●電話／018-860-1215 ●FAX／018-860-3875 ●E-mail katsu@pref.akita.lg.jp